

# 概 況

平成 15 年平均大分市消費者物価指数は、平成 12 年を 100 とした総合指数で 97.9 となり、前年に比べ 0.3% の下落となった。

近年の総合指数の動きを前年比で見ると、平成 9 年は 4 月の消費税率引上げの影響などにより 2.0% の上昇と、平成 3 年以來 6 年ぶりに 2% を上回る上昇となった。10 年は天候不順により生鮮野菜が高騰したことに加え、消費税率引上げや 9 年 9 月の医療保険制度改正の影響が残ったことなどにより 0.4% の上昇となった。11 年は前年に高騰した生鮮野菜の値下がりに加え、電気・ガス代や工業製品の値下がりなどにより 0.7% の下落と平成 7 年以來 4 年ぶりの下落となった。12 年は生鮮食品が値下がりしたことに加え、耐久消費財や繊維製品などの工業製品の値下がりなどにより 0.4% の下落となった。その後も、耐久消費財や食料工業製品などの工業製品の値下がりなどにより 13 年は 0.7% の下落、14 年は 1.1% の下落となった。

平成 15 年は、耐久消費財や食料工業製品などの工業製品の値下がりなどにより 0.3% の下落と、平成 11 年以降 5 年連続の下落となったものの、下落幅は前年に比べ縮小した。

総合指数と前年比の推移

